



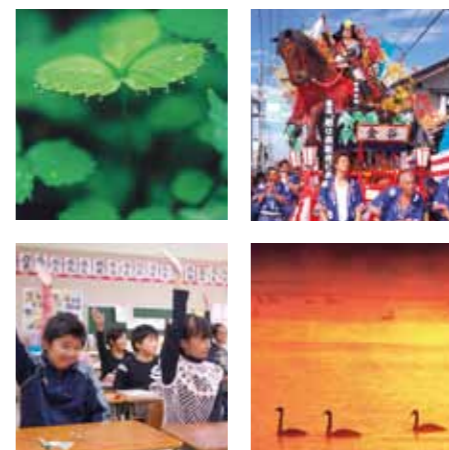
夢・大地 みんなが愛する水の里

# 豊饒の大地 登米

夢を未来を笑顔を  
ここでつくろう



2012 登米市市勢要覧



## 2012 登米市市勢要覧

発行 / 平成24年1月

宮城県登米市

登米市総務部市長公室

〒987-0511

宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1

TEL.0220-22-2090 FAX.0220-22-9164

E-mail:koho@city.tome.miyagi.jp

URL:<http://www.city.tome.miyagi.jp>

# CONTENTS

## とめ 食材発信・登米

- P02 県内一の生産量 人や環境にやさしい登米の環境保全米
- P04 定評ある味と質 全国トップレベルの登米産牛
- P06 取れたての新鮮なおいしい野菜を 登米から届けたい
- P08 あぶら麩、はっと
- P10 澤乃泉、登穀味噌・松印醤油、  
伊達の純粋赤豚・伊豆沼ハム、津山杉の木工品

## とめ 自然宝庫・登米

- P12 守り続けたい 水の里ならではの豊かな自然
- P14 すっぼりと自然に抱かれて学び、そして遊ぶ
- P15 登米の自然体感スポット、登米の体験型観光メニュー

## とめ 文化継承・登米

- P16 伝統芸能という財産を通じ人と人がつながる
- P18 四季折々に熱く燃える地域特有の祭り
- P20 登米市から生まれるアート・文化・芸術

## とめ 未来展望・登米

- P22 人材をしっかり育て地域発展の力に
- P24 地域経済活性化の大きな弾みに
- P26 登米市総合計画
- P34 東日本大震災～震災から復興へ～
- P36 登米市プロフィール
- P37 資料編
- P43 登米市5年間のあゆみ

# とめ 登米の“地域力”強化に 力を入れていきます

## 登米市の持続的な 発展に向けて

私は、自然に恵まれたこの登米市が大好きです。

**春** 東北最大を誇る北上川、栗駒山の雪解け水で湛えられた追川が、寒さに耐えた登米大地を潤します。柔らかな春風に揺れるさくらの花で包まれる登米市。

**夏** すぎの美林が緑を増し、登米耕地からはキュウリやトマトといったおいしい夏野菜が私たちに届きます。受け継がれてきた地域の祭りに、人々の鼓動が高鳴ります。汗だくになってスポーツに打ち込む子どもたちの楽しい声が聞こえてくる、躍動の季節となる登米市。

**秋** 田んぼは黄金色に染まり、実りの季節を迎えます。青く澄み切った高い空から心地よい秋の風が豊饒の大地を渡り、収穫の喜びと文化や芸能に触れる季節となる登米市。

**冬** ラムサール条約指定登録湿地の伊豆沼・内沼に、冬の使者のはくちよつやガンなどの渡り鳥が、美しい雪景色を連れて来ます。雪化粧をした清冷の時を迎える登米市。  
登米市の四季が、私たちを優しく包み込んでくれます。

先人の方々が築き上げたこの豊かな環境は、平成17年4月に9町が合併し登米市に引き継がれ、市制施行5年の節目までに重要な課題でありました消防防災センターなど広域4事業の整備を終えることができました。

しかし、東日本大震災という未曾有の災害に見舞われ、私たちは深い悲しみと厳しい試練に直面しています。

けれども、どのような状況に置かれようとも、私たちが歩みを止めることはありません。

一日も早い復興を遂げ、さらなる登米市の持続的な発展を目指し、人づくり、産業の振興、医療・防災体制の充実を図り、誰もが登米市で一生を過ごしたいと思える安心して暮らせる地域づくりをとおして「夢・大地 みんなが愛する水の里」をさらに発展させ、次の世代にしっかりとつないでまいります。



とめ  
登米市長

ふせ たか ひさ  
布施 孝尚



秋にはあたり一面が黄金色に染まります。



### 生き物調査の様子

ザリガニやメダカ、オタマジャクシなど田んぼの生態系がどれだけ守られているか定期的に生き物調査を実施しています。このとき参加した子どもたちは、捕まえた生き物を熱心にスケッチしていました。



# 01 県内一の生産量 人や環境にやさしい 登米の環境保全米

生命をつなぐ米づくり。安心へのこだわりが生きています。

## 米づくりへの 思いがこもった おいしいお米

宮城県の北東部に位置し、市のほぼ中央を迫川、東側を雄大な北上川が貫流し、肥沃な登米耕土を形成しています。平坦な穀倉地帯で県内でも随一の米生産量を誇り、登米市産の「ひとめぼれ」は、財団法人日本穀物検定協会の米の食味ランキングでは最高の「特A」を平成15年から連続で受賞しています。また、おいしいだけではなく、環境にやさしい米づくりへの思いがこもった「環境保全米」の取り組みを知ってもらうため、首都圏などのイベントで販路拡大と環境保全米づくりへの応援者の獲得を目指しています。

## 環境保全米発祥の地 「登米市」

登米市は、未来の子どもたちにこの豊かな環境を引き継ぐため、自然との共存を意識した環境保全型農業に市全体で取り組んでいます。田んぼの生き物や人の健康への負担が少なくなるよう、他の地域に先駆けて農薬や化学肥料を

減らした栽培をしています。産地栽培方法を証明する「栽培履歴簿」の記帳、食味調査、DNA鑑定、残留農薬分析を実施した安心なお米です。

また、田んぼの生き物調査など、生態系がどれだけ守られているかの調査も毎年実施。このような米づくりへの思いが環境保全米として実を結び、今では市内で8割以上の生産者が環境保全米づくりに取り組み、宮城県内産の環境保全米の3割以上が登米市で作られています。

環境保全米への取り組みを、一人でも多くの人に理解していただき、食べ続けていただくことが大切です。お米を買っていただくことで、日本の水田農業を支え、環境にやさしいお米づくりが続けられます。環境保全米は生産者と消費者が連携して、田んぼの環境を守るお米です。



南方町水稲部会 部長  
大久保 芳彦さん



しっとりもちもちの食感が魅力の米粉パン。



## 米粉でパンや麺づくり 米を活用した新たな「食」の提案

日本人の食生活が変化し、米の消費量が減少し続ける中で、その消費拡大が課題となっています。お米を粉末にした「米粉」を使用したパンやケーキ、麺類などは、もちもちとした独自の食感が人気を呼んでいます。

これらの米粉や米粉商品は、登米市内の道の駅や農産物直売所で販売されており、市ではホームページで米粉と地元食材を使ったレシピを紹介するなど、新しい米粉料理の普及拡大に取り組んでいます。



最高級の肉牛に育てるため、餌にもち米や粉末状の炭を混ぜて与えています。



### 高品質の牛肉生産に向け たゆまぬ研究

宮城県の県北に位置する登米市は、全国有数の銘柄牛の産地です。登米市で生産される黒毛和牛は、年間約5千頭が出荷され、全国でも屈指の肉用牛生産高を誇っています。

最高級の牛肉に育てるため、もち米や粉末状の炭を与えるなど日々工夫を凝らし、二頭二頭愛情たっぷり育てています。全国でもトップレベルの食材として自慢の美味しい牛肉です。

登米市で生産される牛肉が他の地域で生産される牛肉と異なる点は、年間に出荷される肉牛の約半数が市内で生産された子牛から育てられているという点です。登米市で生まれ登米市で育つた純粋な「登米産牛」の生産に取り組んでいる農家が多数あり、他地域産の牛と登米産牛の差別化を進めています。

また、このような取り組みによって、生産された牛の素性が明確になり、消費者が求める安全・安心にもつながっています。

### 全国へ、世界へ 登米ブランド牛を

登米産牛には「仙台牛」「はさま牛」「石越牛」の銘柄があり、生産者は最高級の肉牛を育てるために、日々の苦勞を惜しみません。二頭二頭大切に育てられた牛たちは、良質の霜降り和牛として全国の食卓に届けられます。

また、平成23年には仙台食肉市場で取り扱っている登米市産の「仙台牛」が、海外へ初出荷されました。このような取り組みにより、登米ブランドを世界へアピールしています。



わたしたちが育てている「はさま牛」は、肉独特の獣臭を消すために飼料に炭を混ぜて食べさせています。甘みがあり、脂がさらっとして食べやすいので、ぜひご賞味ください。

はさま牛振興会 会長 星輝さん

# 02 定評ある味と質 全国トップレベルの 登米産牛

豊かな自然と愛情たっぷりに育てられた最高級ブランドの牛。

### おいさを一人でも多くの人に 目と舌で楽しむ“もっこり牛まつり”

登米市の豊かな大地がはぐくんだ最高級黒毛和牛をたらふく食べられるのが「もっこり牛まつり」。飼料にもち米を混ぜることで、肉に独特の香りと甘みが出ると言われています。人気のコーナーである「みなみかた産もっこり和牛の丸焼き実演」は、前夜からじっくりと焼き上げ、約1,000人に無料で振る舞われます。お楽しみ抽選券付きのチケットを購入すれば、牛肉と交換でき、炭火や網などが無料で用意されているので、会場内で焼き肉を楽しむこともできます。



もっこり牛まつり最大の目玉  
「みなみかた産もっこり和牛丸焼き実演」





自然に恵まれた登米の気候風土で見事に育ったおいしい野菜。



### 土にこだわる野菜づくり

登米市は広大で豊かな田畑が広がり、1年を通して彩り豊かなさまざまな農作物が生産されています。

登米市の生産者は、安全・安心な野菜を届けることを第一に考えて作っているため、極力化学肥料の使用を抑え、有機質肥料を用いた栄養たっぷりの土壌づくりを行っています。

手間をかけて作り上げた旬の野菜は、愛情がたっぷり注がれ、おいしさも格別。登米の野菜は、地元で「生産者の顔が見える野菜」です。安心して召し上がることができます。

### 地産地消への取り組み

地域で生産されたものをその地域で消費するとともに、その活動を通じて、生産者と消費者を結び付ける「地産地消」。登米市では、市内流通の確立や農家所得の向上、さらには、市民皆さんへ新鮮で安心な農産物を提供する「地産地消」

にも積極的に取り組んでいます。

登米市産の新鮮な取れたて野菜は、市内地産地消推進店を始め、道の駅や直売所、スーパーマーケットなどで手に入れることができます。

農産物直売所は、取れたての色鮮やかな野菜が並び、価格の安さはもちろん、生産者との触れ合いが楽しめる場として人気です。また、仙台市や利府町にも登米市の地産地消推進店が認定され、より多くの皆さんに新鮮な野菜をお届けできるようにになりました。

登米市の資源を活かし、肥料も市内のものを使用しています。土づくりから自然のままの無農薬にこだわって作っています。お客さんからの「おいしい」の言葉がやりがい。若手だからこそできる事にどんどん挑戦していきたいです。



4Hクラブ会長 菅原 達徳さん

# 03 取れたての新鮮なおいしい野菜を登米から届けたい

こだわりの土づくり、生産者の顔が見える安心で新鮮な野菜を食卓へ。

### 登米で生産された新鮮野菜は地産地消推進店で

身近な場所で地場農産物を購入・消費する機会を増やし、地場農産物への愛着と「食」と「農」への理解を深めていただくため「登米市地産地消推進店」の認定制度を実施しています。推進店は、市で定める一定の基準を満たし、地産地消に協力してもらえる市内および県内の直売所や旅館、ホテル、飲食店、量販店、小売店、菓子製造業、その他加工食品を製造する業者などを対象に認定しています。

農家の皆さんが丹精込めて作った野菜を農家から直送し、お客さまに取りたて野菜を提供しています。誰が、どこで、どのように作ったかが分かる安心な新鮮野菜やその食材を使用した加工品をぜひ手に取ってお試しください。



推進店は、「のぼり旗」と「ステッカー」が目印





「はつと」とは、小麦粉に水を  
加え、耳たぶ程度のかたさになる  
まで良く練り、熟成させて指で  
薄く伸ばした生地を茹で上げる  
小麦粉料理の一種。醤油仕立ての  
汁で茹で上げたり、お湯で茹でて、  
あずき、ずんだ、ジュウネン(エゴマ)  
などに絡めたりもします。ツル  
ツル、シコシコ、もちもちの食感が  
やみつきになる登米市に古くから  
伝わる郷土料理です。

だしや具材は登米地方の中でも  
地域や家庭によってさまざま。地域  
の特色が味や具材で表現された  
「はつと」は、そこできれいな味わえない  
お袋の味です。  
具の中で人気を二分するのが  
「あぶら麩」と「油揚げ」の存在。  
良いだしがとれるこの二つの食材  
は、まさに東西の横綱です。  
登米市にお出でになり、食べ  
比べてみてはいかがでしょうか。

# 05

## 登米の風土が生んだ もちもちの郷土料理

### はつと



ツルツルとした舌触りとシコシコ、  
もちもちした食感が魅力。



あぶら麩(油ふ)は、小麦の蛋白  
質成分「グルテン」を植物油で  
揚げて作る、全国でも珍しい「揚  
げふ」です。広く市販されている  
焼麩とは異なった特徴を持つてい  
て、その豊かな風味は、あぶら麩  
独特のもので麩のおいしさはも  
とより、味に深みが増す「コク」が  
加わり、料理を一層引き立てま  
す。夏でも日持ちする食品として  
開発されたといわれ、ふるさとの

心と技が育て上げた「伝統の逸  
品」です。手造りで二本一本心を込  
めて丁寧に造り上げた無添加の  
自然食品ですので、安心してお召  
し上がりいただけます。  
また、味が染み込みやすく、  
調理後は柔らかくなるものの、  
食べ応えがあるので、カツ丼風に  
した「油麩丼」も好評で、登米の  
ご当地グルメとして名物の一つに  
なっています。

# 04

## 独特の旨みと風味のある 無添加の自然食品

### あぶら麩



温度や湿度によって出来が  
影響されるあぶら麩。一本一本  
丁寧に造り上げます。

## 日本一はつとフェスティバルで 登米市に伝わる粉食文化を全国にアピール

登米名物「はつと」と全国各地の「はつと」によく似た郷土料理  
が一堂に会するフェスティバル。代表的な「あぶら麩入り醬  
油はつと」や「あずきはつと」のほかにも、「海鮮はつと」や「赤豚  
カレーはつと」など、30種類以上の味が勢ぞろい。一杯200円  
から300円程度で味わえるイベントとあって、会場を訪れた  
人々は、思い思いに味比べをします。熱々の「はつと」に舌鼓  
を打ちながら、お腹も心も温まります。

はつとは、煮込んで汁がトロツと  
するのも魅力の一つ。市内では25  
店以上で「はつと」をご賞味いた  
だけます。ぜひ、とろみのあるオリジ  
ナルの食文化に触れてください。

登米はつとの会 会長 飯塚 哲朗さん



## B級ご当地グルメの祭典、B-1グランプリ参加で 全国から注目を集める油麩丼

だし汁の染み込んだあぶら麩を半熟の卵でとじ、登米産の  
ごはんの上に乗せたものが油麩丼です。その「油麩丼」で、地域  
を活性化させようと立ち上がった「油麩丼の会」。地元の人に  
愛され、安くておいしい「B級ご当地グルメ」の日本一を決める  
「B-1グランプリ」に参加し、全国に向けて「登米市の油麩丼」  
を広くPRしています。登米市にお立ち寄りの際は、ほっとする  
美味しさをぜひご堪能ください。

「油麩丼」は、手軽でおいしく、地元  
で人気のあるメニュー。私たちは  
「油麩丼」を全国で紹介する活動  
を行っています。多くの皆さまが「油  
麩丼」を食べに「登米」に来てくれ  
ると嬉しいです。

油麩丼の会 会長 海老名 康和さん





やわらかくてジューシー、舌触りの良さが特徴の「伊達の純粋赤豚」は、宮城県が7年かけて作り上げた純粋豚「しもふりレッド」を純粋交配させて生産した肉豚です。味のばらつきを無くし、いつでも美味しい肉を食べていただくため、全頭検査を実施。専門スタッフが美味しさを確認しています。また、宮城県産で生産者の顔が

見える豚を原料としている「伊豆沼ハムソーセイジ」は日本人にあった味付けをし、職人の目が届く範囲内で生産された限定品です。平成18年に「ドイツ国際食肉コンテスト」において金賞受賞。これらを生産する伊豆沼農産は、平成20年度第38回日本農業賞において大賞を受賞しています。

# 08

## 品質が評価され 日本農業賞大賞受賞 伊達の純粋赤豚・伊豆沼ハム

# 06

## 良質な米と水から 生まれる本物の酒 澤乃泉

地元の農家が栽培したこだわりの米を使い、確かな職人の技が造り出すみちのくの銘酒「澤乃泉」。ほどよい香りとのと越しの良さが特徴の純米大吟醸で、多くの人から人気を集めています。佐藤宏さんが杜氏を務める石越醸造は、鑑評会で度々上位入賞を果たしている酒蔵です。ササニシキ、ひとめぼれ、蔵の華などの地元の米、良質な水、熟練の技が調和し、おい



しいお酒ができます。米どころ登米市から生まれた「澤乃泉」をぜひ味わってください。



# 07

## 伝統の技が生きる こだわりの健康食 登穀味噌・松印醤油

日本食に欠かせない味噌と醤油。登米は古くから醸造業が盛んに行われた地域で、ヤマカノ醸造は明治中期より創業百余年になる企業です。登米産特別栽培大豆・米を使用した地産地消「登穀味噌」、愛されて50年・おふくろの味「松印醤油」など、長い歴史の中で培われたこだわりの製法で、伝統の味を造り続けています。



ヤマカノ醸造は「本場仙台味噌」

醤油鑑評会」において数多くの受賞歴があり、平成22・23年度は味噌の部で2年連続第1位を受賞。コクと旨みが自慢の「ヤマカノ」の味噌・醤油を、一度ご賞味ください。



## ぬくもり感じる 自然素材のモノづくり

### 津山杉の木工品

木目の美しい津山杉。その津山杉を加工した「矢羽木工品」は名産品です。手間を掛け丹念に接着加工することで、きれいな矢羽模様の集成材が完成。職人の手によって、木工品としての新しい命が吹き込まれていきます。

津山杉を活用した美しい矢羽模様の家具や、さまざまなオリジナル木工品は、見た目の美しさ、触れたときの柔らかく優しい感触、独特の杉の香りがあり、心が和みます。

また、仙台駅東口にアンテナショップをオープン。全国へ木材の素晴らしさを発信していきます。



もくもくハウス仙台店

### もくもくハウス

クラフトショップもくもくハウスは杉の木をふんだんに使った、木の香り漂うウッディハウスです。店内は、杉矢羽集成材やアカマツ、ケヤキなどで作られた木工品が約2,000点並び、まるで木の博物館のようです。





国際的にも重要な渡り鳥の飛来地で、冬にはハクチョウやガンをはじめとする渡り鳥が越冬します。特にマガンは日本に渡ってくる8割が飛来し、早朝の飛び立ちや夕方へのぐら入りなどの雁行は壮観です。冬季でも全面凍結することはほとんどないことから、水鳥が越冬しやすい環境で、渡り鳥の楽園であるとともに、魚類や昆虫類など多種多様な生物が生息しています。また、水辺にはヨシやマコモをはじめ、たくさんの水生植物が自生しており、貴重な原生の自然の姿を見ることができます。特に夏の湖面いっぱいに咲くハスは見事です。



ラムサール条約  
登録湿地  
**伊豆沼  
内沼**



### 大地を潤し生命をはぐくむ 北上川

岩手県岩手郡御堂にある、「弓弭の泉」を源流として、岩手県と宮城県を流れる一級河川で、登米市の東側を北から南に流れています。流路延長249km、流域面積10,150km<sup>2</sup>は、東北最大であり全国でも4番目に入る河川です。その流域には、広大で肥沃な登米耕土が形成され、県内でも有数の穀倉地帯となっており、基幹産業である農業の発展を支えてきました。登米市津山地区でその流れは二つに分流し北上川本川は追波湾へ、旧北上川は石巻湾に注いでいます。

### 天然記念物「イヌワシ」の生息地 翁倉山

登米市と石巻市にまたがる翁倉山は、国の天然記念物「イヌワシ」の生息地として知られ、宮城県自然環境保全地域に指定されています。イヌワシは普通、断崖の岩棚などに巣を作りますが、翁倉山ではアカマツ、モミなどの大木の上に巣を作っています。この地域には高さ18m、直径80cmを超える大木が多く、イヌワシの生息環境に適しているといえます。また、翁倉山の頂上は眺望の優れた所としても知られ、眼下には志津川湾や追波湾、南東洋上には金華山、西には奥羽山系の雄大な景観を楽しむことができます。



### 源氏ボタルの里

東和地区の鱒淵川に群生する源氏ボタルは国指定の天然記念物。毎年6月下旬から7月上旬にかけて、清流を舞台に源氏ボタルが乱舞する幻想的な世界を味わおうと県内外から多くの人が訪れます。



### 三滝堂 ふれあい公園

キャンプや芋煮会など、四季を問わず大勢の人たちが訪れます。水の流れも緩やかで、水遊び場としても最適です。

多様性に富んだ豊かな自然とともに、自然と共生する知恵を次世代へ。  
**守り続けたい  
水の里ならではの  
豊かな自然**







## 登米の自然体感スポット

にぎわい、そして、やすらぎ。自然に包まれながら過ごす心地よいひとときを楽しもう。



### 長沼フットピア公園

オランダ風車をシンボルとする公園。チューリップ園、長大なローラーすべり台、キャンプ場、ふるさと物産館などがあり、家族で遊べる大きな公園です。



### グリーンキャンプなかだ

自然をまるごと体験できるキャンプ場です。常設テント5張、普通テント20張、炊飯棟キャンプファイヤー場などを完備。リーズナブルな料金で利用できます。



### 平沼沼ふれあい公園

市の自然環境保全地域に指定された自然林に囲まれ春は桜、夏はスイレンとハス、秋には紅葉、冬には白鳥などの渡り鳥が飛来する、風情豊かな公園です。



### 伊豆沼・長沼のハス

伊豆沼・長沼に群生するハスの花を、遊覧船上から間近に見ることができます。沼一面に咲き乱れるハスの花は光り輝き、その様は極楽浄土を思わせます。

## 登米の体験型観光メニュー

豊かな自然と調和したさまざまな体験メニュー。家族や仲間で最高の思い出づくりをしよう。



### もくもくクラフト教室

クラフトショップもくもくハウスには津山産の杉の矢羽根細工がたくさん展示・販売されています。木工の体験教室もあるので、ぜひ自分で手作りしてみませんか。



### ウイナー作り体験

伊豆沼農産でウイナー作り体験ができます。伊豆沼ハムの原料となる豚肉をオリジナルスパイスで味付けし、天然羊腸に詰めてジューシーなウイナーが作れます。



### 森林体験・山菜狩り

「緑のボランティア」として、山ザクラ苗の植え付けが体験できます。植林活動後には山菜(山うど)狩りも体験でき、家族そろって楽しめます。



### りんごの花摘・摘果体験と収穫体験

オノデラりんご園でりんごの花摘・摘果体験と収穫体験ができます。自分で世話をしたりんごは格別。春は果樹園の周囲で山菜狩り体験をすることもできます。



### 自然散策・まいたけ狩り

東和の「きのこの森」で、自然散策とまいたけ狩りが体験できます。きのこ料理、マイはしづくりで地球環境などを考えての交流会など、自然の恵みを体験してください。



### マリンスポーツ体験

カヌーを中心にローボート、ヨットなどの本格的マリンスポーツが体験できます。専門スタッフがパドルの操作から乗り方まで指導してくれるので、初心者でもOK。



### そば打ち体験

道の駅米山ふる里センターY・Yで地元の素材を活かしたそばうち体験ができます。米山産のそば粉を使用した香りとこしのあるそばの味を堪能してみませんか。



### 炭焼き体験

土の炭焼窯で、炭焼き体験ができます。自分で炭を焼いて、木や自然のことを考えてみませんか。炭窯に原木を入れ、火入れや炭の取り出しなどの体験ができます。

すつぽりと  
自然に抱かれて  
学び、そして遊ぶ  
わたしたちが本来持っている  
「ここ」と「からだ」の元気を取り戻す。



宮城県初  
森林セラピー基地  
登米  
ふれあいの森

癒しの森で  
身も心もリフレッシュ

宮城県初の森林セラピー基地に認定された「登米ふれあいの森」。園内には時間や体力に合わせて選べる8コースが整備されており、四季折々の景色を楽しみながら散策することができます。柔らかな土の感触や木立の葉が風に揺れる音など、日常では出会えない新鮮な驚きがいっぱい。森林が持つ癒しの効果をプラスし、相乗的な効果を得るため、森林セラピーエリア内で実施する健康づくりプログラムにも取り組んでいます。

森林セラピーで、心も身体もリラックスしてほしいですね。炭アートや森の中の気功も体験できます。私がお案内しますので、ぜひお出でください。

登米町森林組合  
竹中 雅治さん





### 鹿踊り

佐沼鹿踊伝承会

**伝統を重んじる気概が成した  
幻の郷土芸能復活**

迫町、南方町、栗原市瀬峰町の一部が「佐沼郷」と呼ばれていた江戸時代初期から、佐沼城(鹿ヶ城)にその踊りを奉納していたという「佐沼鹿踊」。頭には鹿頭をかぶり、腹に太鼓、背にササラという長い竹を背負い、歌って舞う勇壮な太鼓踊系の芸能です。

昭和初期に後継者難のため一度は姿を消し、幻の郷土芸能となっていました。平成8年に同じ流派の南三陸町水戸邊鹿子躍保存会の指導のもと復活。昔は10人1組で踊っていましたが、現在は8人で踊ることから八ッ鹿踊りともいわれています。



# 伝統芸能という 財産を通じ 人と人がつながる

地域に誇りと愛着をもたらし、  
貴重な文化財を次世代に残す。

### 神楽

上町法印神楽  
保存会



### 太鼓

米山丸山太鼓

### 地域に根差した活動で 創作太鼓の技を伝える

米山丸山太鼓は、平成元年に結成。米山の先人で江戸時代の第3代横綱丸山権太左衛門にちなみ「米山丸山太鼓」と名付けられました。

イギリスの影武者太鼓とのジョイントコンサートをはじめ、全国の大会にも数多く出場しているほか、市や地区の行事にも積極的に参加するなど、地域に根差した活動も行っています。小中学生を中心に20人程度で活動。巧みなばちさばきで、多くの人たちを魅了しています。

### 伊達一門の流れをくむ 230年の伝統を守る

登米能は、藩制時代から伊達一門の流れをくむ能として230年の伝統を誇ります。その型は金春大藏流の手附(伝書)の原型を受け継いでおり、この流れを宮城県内で唯一継承しているのが、登米謡曲会。謡は昭和20年ごろより喜多流となり現在に至っています。平成10年には、宮城県無形民俗文化財に指定されました。

暗闇の中、薪によって照らされるかがり火のもとで演じられる「登米薪能」はまさに幽玄の世界です。



### 能

登米謡曲会

### 後継者を育成しながら 無形民俗文化財を伝承

宮城県の無形民俗文化財に指定されている上町法印神楽は、豊里町上町の稲荷神社例祭に奉納されてきた神楽。例祭日に、五穀豊穡を祈って修験者が舞ったのが起源とされ、数百年の伝統を誇る法印神楽です。

明治中期以降は神社の氏子らが引き継ぎ、現在は保存会が伝承。演目は33番からなり、すべてを演じると3日間もかかると言われています。今では、そのうちの18番を継承しており、年1回の稲荷の例祭で奉納。

また、現在伝承している「風追い」の舞は豊里に伝わる「風追いばやし」を神楽用に振り付けたこの神楽独特の演目です。



太鼓と笛の音に魅せられて始めた神楽。私自身、神楽で舞うことに夢中です。見所は力強い足の踏み。夜、かがり火の明かりに照らされた神楽はさらに迫力があります。

上町法印神楽保存会  
鈴木 克幸さん



# 四季折々に熱く燃える 地域特有の祭り

先人が守り伝えた伝統文化を誇りを持って守り続ける。



登米秋まつり



米川の水かぶり



## 地域の習わしを伝える 歴史ある火伏せ行事

国の重要無形民俗文化財にも指定されている「米川の水かぶり」は、東和町米川五日町地区に古くから伝わる火伏せの行事。2月の初午の日の朝、地区の男たちがしめ縄などの藁束を身につけ、顔にかまどの煤(すす)を塗り、屋根に向かって水を掛けながら町中を走り抜け、地区の男たちだけが水かぶりの姿になる行事のため一般の参加はできません。また、男たちが身につけているわらを抜き取り、屋根に上げておくと火伏せのお守りになるとも伝えられています。



寒いなか、裸にわらを身につけるので体中傷だらけになるなど大変なこともありますが、この伝統を受け継いでいくことが私たちの使命だと感じています。見物に来た皆さんは水がかかってしまうというスリルも味わえますよ。

米川の水かぶり保存会  
亀卦川 康徳さん

## 作物の実りに感謝し 豊作を祝う

歴史と文化を継承し、約330年以上続いている「登米秋まつり」。この祭りの山車行事は、宮城県が無形民俗文化財に指定されています。

登米町の総鎮守である登米神社の秋季例祭に行われる行事で、山車は、岩山と人形を基調とした伝統的な飾り付けで、かつての仙台藩の山車祭りの特徴をよく表現しています。本祭では豪華な山車と威勢のいいみこしが、にぎやかなおはやしが鳴り響く中、城下町を練り歩きます。

祭りの約1カ月前から準備している山車。鉄砲町では「能」をテーマに製作しています。これからもしっかりと伝統を守りながら受け継いでいきたいです。昼の山車も迫力がありますが、夜に見る山車も神秘的です。



鉄砲町町内会  
佐川 健太郎さん



## 佐沼どんと祭 裸祭り

無病息災、五穀豊穡、商売繁盛を祈るどんと祭。白鉢巻にサラシを巻いた男たちが参拝する「裸祭り」は圧巻です。



ホラ貝と花火を合図に、露払いを先頭に道中奉行、おみこし担ぎ、稚児行列など、総勢約100人によって練り広げられる一大歴史絵巻。



## YOSAKOI & ねぶた いこつよさこ

華麗な衣装や躍動感溢れる演舞と、軽快なおはやしに合わせ夜を彩る幻想的な「豊里ねぶた」。見どころ満載の夏まつりです。



©石森章太郎プロ

石ノ森章太郎  
ふるさと記念館

「仮面ライダー」「サイボーグ009」など数々の名作を世に送り出した萬画家石ノ森章太郎さんの作品や宝物、愛用品が展示されています。また、著名な漫画家が住んでいたことで有名な「トキワ荘」の部屋の再現なども展示。

ヒット作を生んだ  
石ノ森章太郎氏のルーツに触れる



# 登米市から生まれる アート・文化・芸術

芸術に触れ、文化を感じながら育ち、アートが息づく。



サトル・サトウ  
アート・ミュージアム

現代アートの魅力を  
身近に感じる

登米市出身の造形作家・佐藤達(さととう)さんと、彼がパリ滞在中に出会った仲間たちにより寄贈された「幾何学構成絵画のコレクション」を中心に美術作品を展示する、特色あるアートミュージアム。習作・幾何学構成から「間」の空間を意識した作品を中心に、12年にわたって制作された鉛直主義へ向かうサトル作品の変遷がご覧いただけます。展示やイベントなどを通して現代美術に対する理解が深まり、現代アートをより身近に感じることができます。

## 全国でも珍しい幾何学構成アートの祭典 登米アトリエンナーレ

市民の現代アートに対する戸惑いや興味を親しみへ変化させたいとの願いから開催される祭典。さまざまな教育プログラムや関連イベントの過程の中で「アートと人」「人と人」とが会うことで、沢山のつながりが生まれます。



沢山の人の力を感じる素晴らしい催しです。敷居が高いイメージの「アート」を身近に感じることができます。



アトリエンナーレ  
実行委員会  
伊藤 多恵子さん

## 登米祝祭劇場「水の里ホール」



文化を継承し、育てる  
登米市の文化活動拠点

登米市の伝統文化を次の世代に継承し、新しい文化の芽を育てていくための拠点、それが登米祝祭劇場。地域に伝わる文化や歴史を題材にした市民劇「夢フェスタ水の里」は舞台に関わるすべてが地域住民の手によるもので、地元ならではの熱演が多くの感動を呼んでいます。

また、市内唯一の子どもミュージカル劇団「ドリーム☆キッズ」の公演や、隠れた才能を持った作家に個展のチャンスを与える「個人展示会」、ふだん着感覚で楽しむ手づくり演奏会「ふだん着コンサート」など、「市民が主役」のイベントを開催しています。



登米市  
歴史博物館

「武家文化と民衆の暮らし」をテーマに幕藩体制下の武士と民衆、両者の視点から展示しています。



高倉勝子美術館  
桜小路

登米市出身の日本画家・高倉勝子さんの作品を展示する美術館。さまざまな企画展も開催しています。



国指定重要文化財建造物  
旧登米高等尋常小学校  
教育資料館

明治時代の洋風学校建築を代表する建築物。木造2階建のコの字型で、当時の教室を表現しています。



海外の文化に接する  
**登米市青少年  
 海外派遣・受入事業**

市内の青少年の国際性を養い、海外の人々との相互理解と信頼を深めることにより、次代を担う国際感覚豊かな青少年を育成することを目的として「登米市青少年海外派遣事業」を行っています。

中高生を海外に派遣し、ホームステイや現地生徒・市民との交流など、数多くの貴重なプログラムになつています。

また、海外の青少年が登米市を訪れ、交流を行う受入事業も行っています。

EDUCATION & INDUSTRY  
**未来展望・登米**

# 人材をしっかりと育て 地域発展の力に

次世代を担う人材をはぐくみ、個人の力を地域の力に変えていく。



**地域づくりを担う  
 地域次世代リーダー  
 養成講座**

さまざまな地域課題を解決していくためには、地域自らが考え行動していかねばなりません。

市民が主体となった協働のまちづくりを進めるため、市民活動や地域づくりを担う人材やコーディネーターの育成を目的に講座を開催しています。

講座では、地域のリーダーとなる人材を養成するため、地域づくりや市民活動の基本的な知識、コミュニケーションスキルに関する講義演習を行っています。



**女性の地域参加を促す  
 女性リーダー養成講座**

市では、男女共同参画社会の実現に向けて、職場や地域など、社会のあらゆる場面で活動できる女性を養成するため、連続講座を開催しています。

人とかかわり方やコミュニケーションについての講義、意見交換や会議に参加したときの発言の仕方などの能力向上を目的とした実践的な演習を行います。

また、子育て中の女性でも参加できるように、無料の託児所を設置しています。



**次世代のリーダーを育成する  
 ジュニアリーダー  
 養成講座**

各種事業の際、お兄さんお姉さんとして、子どもたちの自主的な活動を支える役割を担うジュニアリーダー。団体生活の中での交流の大切さ、楽しさを学び、地域で活躍できるリーダーの育成を目指して養成講座を開催しています。

ジュニアリーダーとして基本的な知識、技術、集団生活でのマナーなどについての研修を行い、子ども会活動およびボランティア活動のリーダーを養成しています。



## 株式会社 I LOVE ファーム登米

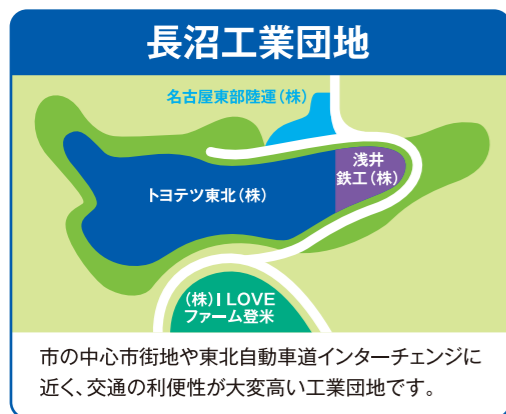
### 株式会社 I LOVE ファーム登米

代表者 代表取締役 星野 雅司  
 設立 平成19年9月28日  
 土地面積 5.5ha  
 施設面積 6,400㎡  
 生産品目 パプリカ  
 (株)ドールへの全量出荷  
 雇用の確保 地元雇用/  
 正社員3人・パート4人

未来展望・登米  
 EDUCATION & INDUSTRY

# 地域経済活性化に 大きな弾み

市の経済活性化や雇用確保など、市発展の大きな一歩。



### 長沼工業団地



市の中心市街地や東北自動車道インターチェンジに近く、交通の利便性が大変高い工業団地です。

**パプリカ大型栽培施設**  
 果実、野菜の生産・販売で世界最大手の「ドール」日本法人が、登米市長沼工業団地に隣接する企業用地にパプリカ大型栽培施設を整備しました。  
 日照量が多いほか、夏涼しく冬の降雪量が少ないという登米市の気候や、栽培に適した水質であることなど、パプリカを育てるのにも良い環境といふことから進出が決定したものです。  
 施設は、6,400㎡の温室と付帯設備を設置し、培養土を一切使わない養液栽培によって年産約120トンの生産能力を有した施設となっています。  
 生産は系列の農業法人「I LOVE ファーム登米」が行っており、甘みのあるおいしいパプリカを生産しています。



## トヨタ東北株式会社

### トヨタ東北株式会社

代表者 代表取締役 水野 雅幸  
 設立 平成22年9月30日  
 資本 20億(資本金10億、資本準備金10億)  
 社員数 70人以上  
 土地面積 約125,000㎡  
 建築面積 約24,000㎡  
 事業内容 ボディー部品、シャシー部品等の自動車部品製造

### 良好な交通アクセス

市の西側に沿って東北自動車道が隣接し、市東部には三陸縦貫自動車道が南北に走っています。三陸縦貫自動車道のインターチェンジは市内に2カ所あり、仙台港や仙台空港のある沿岸部へのアクセスが良好です。  
 また、市中心部を横断し、東北自動車道と三陸縦貫自動車道をつなぐ「みやぎ県北高速幹線道路」も整備が進められ、その一部が開通したことで物流の大動脈のひとつである東北自動車道インターチェンジへのアクセスも向上しています。登米市は高速道路への連絡など交通アクセスが良好な立地となっています。



- 東北新幹線  
くりこま高原駅まで約18km
- 東北自動車道  
築館インターチェンジまで約20km  
若柳金成インターチェンジまで約18km

**地元に着した自動車関連企業が立地**  
 自動車メーカートヨタ自動車のグループ会社で、自動車部品製造大手の豊田鉄工株式会社の生産子会社「トヨタ東北株式会社」が登米市長沼工業団地に立地しました。  
 東北での小型車の生産需要にあわせ、愛知県三河地区からの物流コスト削減や、将来の人材確保、立地条件、交通アクセスの良さなどが進出の決め手となりました。  
 工場では、主に関東自動車工業岩手工場(岩手県金ケ崎町)やセンทรัล自動車(宮城県大衡村)に供給する車体のプレス部品、ブレーキペダルなど自動車の骨格部品を製造しており、地元企業との取引も始まっています。  
 また、同じ団地には、自動車部品製造の浅井鉄工株式会社宮城工場と、自動車部品等輸送の名古屋東部陸運株式会社東北営業所が立地しました。  
 市内への自動車関連企業の集積を契機として、地域経済の活性化による市発展の大きな一歩となることが期待されます。

夢・大地 みんなが愛する水の里

# 活き生き健康都市登米

登米市では、平成18年度を初年度とし、平成27年度を目標年度とする「登米市総合計画」を策定しています。総合計画は、これからの市の姿を示し、それを実現するための具体的な考え方や施策の方向性を示しており、市の速やかな一体化を促進して、地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を目的としています。

## 基本構想

市民と行政が共に目指し、共に進めていくまちづくりの基本理念と、その実現に向けて展開していくまちづくりの基本方向を示すものです。

計画期間  
平成18年度～平成27年度(10力年計画)

## 基本計画

基本構想で定めたまちづくりの目標や将来像の実現に向けて、さまざまな施策を展開していくための指針となるもので、分野ごとに現状と課題を踏まえ施策の方向や主要施策などを示すものです。

計画期間  
平成18年度～平成27年度(10力年計画)

## 実施計画

基本計画に示す施策の方向を受けて、行財政状況を勘案しながら事業の実施について、具体的に定めるものです。

計画期間  
平成24年度～平成26年度(3力年計画)  
※ローリング方式により毎年度見直します。

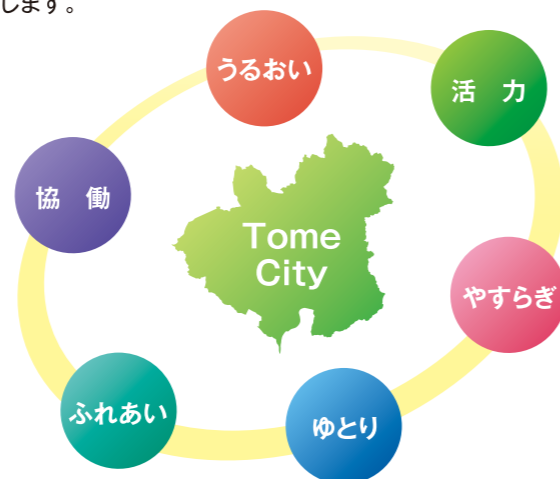
## まちづくりの基本理念

市では、まちづくりの基本的な課題への対応を図るため、『安全・安心』、『産業・定住』、『環境・健康』をキーワードに、それぞれの地域がこれまで培ってきたまちづくりを尊重しながら、均衡ある地域の発展と、若者をはじめ多くの人々が「定住」し、市民と行政が一体となって英知と創造力を結集したまちづくりを進め、『市民との協働による登米市の持続的な発展』を目指すことを基本理念とします。



## まちづくりの基本方向

まちづくりの基本理念として掲げた『安全・安心』、『産業・定住』、『環境・健康』を尊重しながら『市民との協働による登米市の持続的な発展』を具現化するために、市民参画を基本としながら、うるおい、活力、やすらぎ、ゆとり、ふれあい、協働の6つのキーワードを展開したまちづくりの基本方向に基づき、さまざまな施策を推進します。



## 登米市の将来像

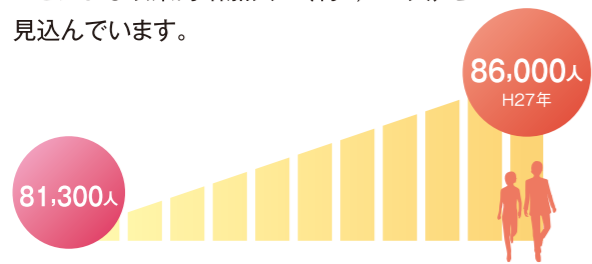
将来像は、まちづくりの基本方向に基づくさまざまな施策を推進して、市民の誇りや市を愛する気持ちを醸成し、東北の大地で持続的に発展することができる『夢・大地 みんなが愛する水の里』を実現させます。

この将来像は、私たちが暮らすこの大地で、共通の財産である豊かな自然と共生を通して一体性を築きながら、愛と夢と誇りをもって市民が一丸となったまちづくりを進めていくためのメインテーマです。

## 計画の指標

まちづくりの指針として、目標とする平成27年度の人口は、これまでの動向や長期的な見通しを踏まえ、86,000人と設定しています。

将来人口は、これまでの人口の推移を基にして推計した人口(約81,300人)に快適な居住環境づくりをはじめ、働く場の創出、市街地の整備、子育てへの支援など、特に若者が定着するための定住環境づくりを着実に進めることによる政策的増加人口(約4,700人)を見込んでいます。



## 土地利用の基本方針

現在の土地利用構造は、北上川を境にして、大きく東部の森林を主体とする地域と西部の市街地や田園を主体とする地域に大別されます。豊かな森林や田園、水質源などは大きな魅力となっており、この自然環境を持続させ、水と緑の景観や環境を創出していくことが必要です。

そのため、具体的な土地利用については、今後策定される国土利用計画や都市計画マスタープランなどの部門計画において望ましいあり方を総合的に検討し、計画的に実施していきます。

# 人と自然が共生する

## 「うるおい」のあるまちづくり



持続的発展が可能な循環型社会システムの構築に向けて、水辺や森林、田園など水の里としての豊かな自然環境を守り、限りある資源を大切に、大量消費・大量廃棄という生活様式の見直しを進めながら、人と自然が共生するうるおいのあるまちを目指します。

### 主な取組内容

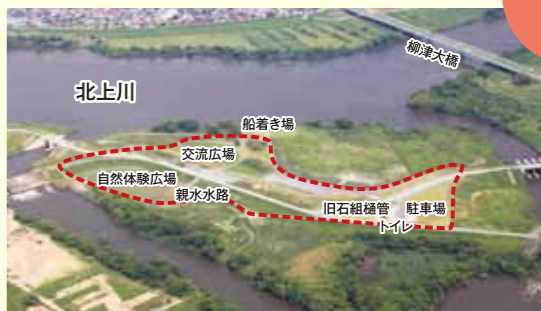
- 市民参加による環境美化活動を推進し、清らかな水辺の回復
- 環境教育・環境学習機会の充実
- 市民の皆さんとの協働による緑化活動の推進
- 廃棄物の抑制とCO2削減運動の推進
- 環境保全に大きな役割を果たす地域住民等団体への活動支援と人材育成
- 省エネ・新エネルギーの啓発・普及促進
- 生活雑排水の適正な処理と衛生的で快適な生活環境の創出

### 主な事業計画

- 下水道整備事業
- 環境教育実践事業
- 自然環境保全推進事業
- 一般廃棄物最終処分場建設事業
- 登米市住宅用太陽光発電システム設置補助事業



### 実行事例



#### 北上川河川歴史公園が完成

登米市と石巻市の市境に新しい公園が完成しました。公園中心部には周囲を一望できる展望広場を設置し、歴史展示物として復元した「旧石組樋管」を見学することができます。また、広大な芝生の広場があり、さまざまな利用が可能です。



#### 汚泥再生共同処理センターが完成

し尿と農業集落排水汚泥を炭化肥料として再生でき、資源循環型社会に対応した処理と資源化の複合施設となっています。また、施設などの愛称は公募を行い、施設は「エコランドとめ」、再生された炭化肥料は「タンビ(炭肥)くん」に決まりました。

### 実行事例



#### 登米ブランド認証制度

環境をキーワードに農林産物の安全・安心を基本として一定の基準以上の品質を備えたものを対象に「登米ブランド」として認証する制度です。消費者が商品を選ぶ際の優位性を高め、生産者の生産意欲と農家所得の向上を目指します。



#### 登米市産業フェスティバル

市の多様なモノづくり産業を市内外へ紹介するため、古くから伝わる伝統工芸品から最先端技術を駆使した工業製品までの市内商工業生産品が展示されます。地場産品を活用した加工品や農林畜産物の販売なども紹介します。

# 大地の恵みと人の技を活かした「活力」のあるまちづくり

豊富な地域資源やさまざまな技術、交通・情報ネットワークを活用しながら、農業をはじめ林業や商業、工業、観光などの産業を振興し、大地の恵みと人の技を活かした活力のあるまちを目指します。

### 主な取組内容

- 環境保全を意識した地域循環型農業の推進と、多様な担い手の育成・確保
- 地域産木材の消費・特用林産物の生産性向上、高付価値化の推進と販路拡大の推進
- 事業者の経営安定化のための融資制度活用促進、企業進出の環境整備
- 高齢者・障害者・女性などに対する新たな雇用の創出
- 農畜産物の登米ブランド化の推進
- 滞在型観光やグリーンツーリズムなどの推進と地域住民の農業関連所得の向上

### 主な事業計画

- ほ場整備事業
- 産業フェスティバル開催事業
- 農地・水保全管理支払交付金事業
- 環境保全型農業直接支援対策事業
- 登米ブランド認証事業
- 担い手育成支援・新規就農支援
- 農業サポート人材バンク事業
- 登米市ブランド材活用促進事業
- 中小企業振興資金保証料・利子補給
- 登米市企業活動支援事業





# 安全に安心して暮らせる 「やすらぎ」のあるまちづくり



保健・医療・福祉の充実により、誰もが健康で生きがいを持てるまちづくりを進めるとともに、防災・防犯対策を進め、子どもから高齢者まで全ての市民が安全に安心して暮らせるやすらぎのあるまちを目指します。



## 主な取組内容

- 地域医療体制の整備と医療体制づくりの推進
- 青少年の健全育成体制の整備と非行防止活動の強化
- 高齢者・障害者のニーズに対応した多様な福祉サービスの構築
- 防災・防犯・交通安全体制の整備・充実
- 子育て支援・保育の充実強化
- 相互扶助による地域福祉活動の充実
- 母子・父子家庭福祉、低所得者福祉の充実
- 消費生活対策の充実

## 主な事業計画

- 特定不妊治療費助成事業
- 子育て用品券支給事業
- 医学生奨学金等貸付事業
- 母子・父子家庭医療費助成事業
- 予防接種事業
- 精神保健事業
- 地域生活支援事業
- 放課後児童健全育成事業
- 消防出張所整備事業
- 木造住宅耐震診断・改修工事助成事業



# 便利で快適に暮らせる 「ゆとり」のあるまちづくり



それぞれの地域の歴史と個性を生かしながら、市街地・集落の整備を進めるとともに、交通網や情報通信基盤の整備を進め、若者の定住を促す便利で快適に暮らせるゆとりのあるまちを目指します。

## 主な取組内容

- 三陸縦貫自動車道のさらなる延伸と、みやぎ県北高速幹線道路登米圏域・古川間連絡道路の整備促進活動の推進
- 市民バス運行事業や住民バス、スクールバス事業の効率的な運行、オンデマンド交通の運行支援
- 公営住宅の入居者等に対応した居住環境の充実
- 生活関連道路と道路施設の整備

## 主な事業計画

- 市道整備事業
- 市営住宅維持管理事業
- 市民バス等運行事業
- 道路台帳補正・修正事業



## 実行事例



### 元気とめ21計画

市では、市民一人一人が健康であるために、健康なまちづくりの指針となる「元気とめ21計画」を策定。行政、職場、学校、家庭、地域、医療機関および健康づくりなどの各種団体が連携、協力して健康なまちづくりに取り組んでいます。



### 地域密着型特別養護老人ホームオープン

公募により施設の整備・運営を行う社会福祉法人を決定し、地域密着型の特別養護老人ホームを整備しました。市民を入所対象に、高齢者が介護を必要とする状態になっても、慣れた地域で生活を継続できるようサポートしています。

## 実行事例



### 市民バスの本格運行

平成19年4月から本格運行を開始しています。公共施設や病院、高校などを経由し、料金は誰もが気軽に利用できるように、1回100円としています。小学生以下と障害者などは無料、高齢者で運転免許を自主返納した方は1年間無料です。



### 高速交通網の整備促進

平成21年3月に三陸縦貫自動車道登米インターチェンジが開通。翌年3月には登米東和インターチェンジまで延伸されました。物流の高速化などにより市の産業経済の発展が見込まれるとともに、救急医療搬送への対応など、安心して快適な暮らしの充実が期待されます。

# 豊かな心と個性を育む

## 「ふれあい」のまちづくり



市民それぞれが、これまで地域で培われてきた文化・芸術やスポーツなどを生涯にわたって学び、楽しむことにより、豊かな心と個性を育み、さらに、こうした活動を通じて多様な交流が活発に展開されるふれあいのまちを目指します。



### 主な取組内容

- 自然体験などの実体験を通じた教育の充実による豊かな心の育成
- 預かり保育などの多様なニーズに対応した幼児教育
- 教育環境整備(大規模改修等)の計画的な実施
- 観光資源としての文化的財や伝統芸能などの積極的な活用
- 生涯学習推進計画による事業の推進
- スポーツ振興計画によるスポーツの振興
- 地域社会で活動する機会を拡大し青少年の豊かな人間性の創造

### 主な事業計画

- 学校施設大規模改修事業
- 青少年海外派遣事業
- JET推進事業
- 国際交流事業
- 陸上競技場整備事業
- 総合型地域スポーツクラブ育成事業



### 実行事例



#### 新田小学校新校舎・体育館完成

平成20年3月に完成した新田小学校は、地域の木材を活用した木のぬくもりを感じる心地よい小学校です。新田第一小学校と新田第二小学校を統合。平成20年4月から、新しい校舎で「新田小学校」としてスタートしました。



#### 登米っ子学習の取り組み

授業と家庭学習を結び付けて学習意欲を高め、家庭学習の習慣化と学習目標の達成を目指した市独自のサイクル学習。「学校から課題提示→家庭学習→翌日に子ども同士で意見交換→授業に臨む」のサイクルで学力向上を図ります。

### 実行事例



#### 地域協働まちづくり事業

市内に活動拠点を有する市民活動団体と市による協働のまちづくりを推進するため、地域の活性化に向けた自主的な活動に対して助成を行っています。地域の特色を生かす事業や課題を効果的に解決する取り組みを支援しています。

# 市民の創造力を生かした「協働」のまちづくり



行政組織のスリム化とともに行政サービスの維持・向上に努めながら、市民と行政の新たな協力関係の構築と市民を中心とした地域づくりを進めるなど、市民の創造力を生かした協働のまちを目指します。

### 主な取組内容

- 市民参画システムの確立による、市民主体の地域づくりの推進
- まちづくり基本条例の制定と男女共同参画の推進
- NPO、各種ボランティア、地域コミュニティ活動の支援とリーダー育成
- コミュニティ施設などでの指定管理者制度の活用
- 行政評価システムの導入、計画的な職員の見直し
- 広報紙やインターネット、市民懇談会などによる情報発信の充実
- 地域から市民の皆さんの声が反映できるシステムづくりの推進

### 主な事業計画

- 市政モニター設置事業
- 協働のまちづくり事業
- 男女共同参画社会づくり推進事業



#### 登米市男女共同参画推進条例制定

男女共同参画社会の実現を目指し、行政、市民、事業者、教育関係者、市民団体が協力し、条例を制定。この条例は市民などで構成される策定委員会から提出された素案をもとに作成され、分かりやすい表現を使い、基本となる考え方や施策などが盛り込まれています。

◆写真で見る被害状況



←大きく地面が裂け崩壊した  
東和総合運動公園の野球場



車道が崩れ落ちた→  
東和総合運動公園周辺



橋脚の破損や落石などにより、通行止め  
や片側通行になった路線。



余震が数多く発生し、避難所で眠れぬ夜  
を過ごす避難者。



災害備蓄品を使い、避難者への炊き出し  
を実施。



配水管の破損などにより市内全域で断水  
し、給水所に列を作る市民。



市内企業をはじめ全国各地から寄せられ  
た救援物資。



とめさいがFMとして救援物資の受け  
付けや災害情報を伝え続けたH@FM。

# 東日本大震災～震災から復興へ～

平成23年3月11日14時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0という国内観測史上最大規模の地震が発生し、宮城県栗原市で震度7、登米市を含む宮城県、福島県、茨城県、栃木県の各地域で震度6強を観測するなど、東日本の広い範囲で強い揺れが発生し、家屋の倒壊、道路の陥没、ライフラインの寸断など大きな被害が発生しました。

市では、「登米市震災復興計画」を策定し、一日も早い市民生活の再建を目指して生活基盤である産業の振興と公共施設の復旧、施設再編を図るとともに、持続的に発展していくことができる安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。

また、想定を超える大津波により甚大な被害を受けた沿岸部の市や町の行政機能回復に向けて、長期的かつ継続的な業務支援を行うとともに、本市に避難された方については、原則登米市民と同じサービスを提供しながら、復興を積極的に支援していきます。

◆東日本大震災の状況

発生日時	平成23年3月11日(金)14時46分頃
震央地名	三陸沖 (北緯38.0度 東経143.9度 牡鹿半島の東約130km)
震源の深さ	約24km
規模	マグニチュード9.0
最大震度	震度7(栗原市)

◆登米市内の震度

震度6強	米山町・南方町
震度6弱	迫町・登米町・東和町・中田町・豊里町
震度5強	石越町・津山町

◆被害状況(平成23年11月30日現在)

人的被害

区分	人数
死者	22
直接死	18
住民	18
その他住民	0
身元不明	0
災害関連死	4
行方不明者	4
行方不明者	1
住民	1
その他住民	0
行方不明者に関する死亡届の受理	3
負傷者	51
重傷者	11
軽傷者	40
合計	77

住家および非住家被害

区分	棟数
住家被害	
全壊	196
大規模半壊	373
半壊	1,107
一部破損	3,229
小計	4,905
非住家被害	748
小計	748
合計	5,653

り災証明処理状況

区分	件数
受付	5,685
調査済	5,653
交付済	5,653

◆避難所・仮設住宅について

市内に避難所を開設し、ピーク時には6,230人が避難所生活を余儀なくされました。避難所では、仮設トイレの設置、災害備蓄品を含む食料や飲料水、毛布の支給を行い、避難者への対応にあたりました。また、市外からの避難者への対応としては、主に南三陸町からの避難者の受け入れを12施設で行いました。その後、仮設住宅への入居などにより、9月12日までに全ての避難所を閉鎖しました。

市内には、平成23年12月現在で南方地区と津山地区に486戸の仮設住宅が建設されています。



南方地区に建設された仮設住宅

# 登米市プロフィール



市章／デザインは、登米市の頭文字、ひらがなの『と』をモチーフにデザイン化をしています。  
「水・緑・太陽」、「豊かな実り」、「元気な市民」をイメージするとともに、  
未来に向けて飛翔・発展する登米市、登米市民を力強く表現しています。

## 市の花 さくら

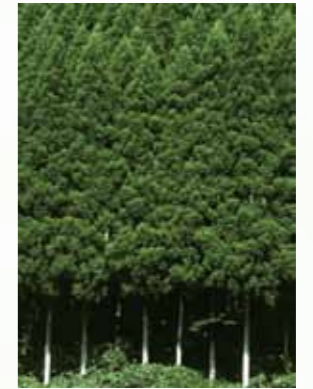


「さくら」は、公園、学校、寺社など、登米市内いたるところで見られ、名所も多く、春を告げる花として、世代を超えて親しまれていることから、「さくら」を市の花としたものです。

## 市の鳥 はくちょう



「はくちょう」は、伊豆沼をはじめ、登米市内各地に飛来し、冬の使者として、また、家族や仲間の絆を大切にする鳥としても知られており、登米市の自然・環境保護の象徴として、「はくちょう」を市の鳥としたものです。



## 市の木 すぎ

「すぎ」は、里山や寺社、いぐねなど、身近に生育し、地域産材として広く知られており、まっすぐ伸びる姿を登米市の発展に重ね合わせ、「すぎ」を市の木としたものです。

## 登米市民憲章

わたしたちは、豊かな自然環境に恵まれた水の里をいつまでも愛し、  
ふるさとの誇れる歴史と伝統文化を受け継ぎながら、  
世界に羽ばたく住みよい登米市をみんなで作るために、この憲章を定めます。

- 一、わたしたちは、夢や希望を持ち、生き生きとしたまちをつくります。
- 一、わたしたちは、健康で働き、豊かなまちをつくります。
- 一、わたしたちは、スポーツや文化に親しみ、明るいまちをつくります。

## 登米市の概要

### 位置と自然条件

宮城県北東部に位置し、北は岩手県、西は栗原市、南は石巻市および遠田郡、東は本吉郡に接しています。西部は丘陵地、北上川左岸の東部は山間地、その間を県内有数の穀倉地帯を形成する豊かな登米耕土が広がっており、「宮城米」「ササニシキ、ひとめぼれ」の主産地として有名な地域です。気候条件は、最高気温と最低気温の差が大きい内陸性気候となっていますが、冬の降水量は少なく、降雪期間も比較的短いことから、東北地方にあっては温暖な住み良い地域といえます。

### 人口と世帯

人口は、平成22年国勢調査において8万3969人で、平成17年国勢調査より約6%減少しています。一方、世帯数は平成22年国勢調査において2万5002世帯で、平成2年国勢調査時の2万3308世帯から

### 産業

1694世帯増加しており、二世帯当たり1.694世帯増加していることから、単身世帯の核家族化の進行など世帯構成が変化してきていることが伺えます。

本市は、米を中心とした土地利用型農業を中核としていますが、産業別に見た就業者の動向は、農林業などの第1次産業から工業や商業などの第2次産業と第3次産業への転換が進んでいます。特に第1次産業は昭和50年から平成17年までの30年間で大きく減少しています。

しかし、平成17年の第2次産業就業者比率、16.8%は、県平均(6.3%)を大幅に上回っており、依然として本市の基幹産業としての役割を担っています。

### 交通網

国道45号、342号、346号、398号および国道456号を中心として、主要地方道7路線と一般県道15路線を骨格に形成されています。また、鉄道はJR東北本線が迫町と

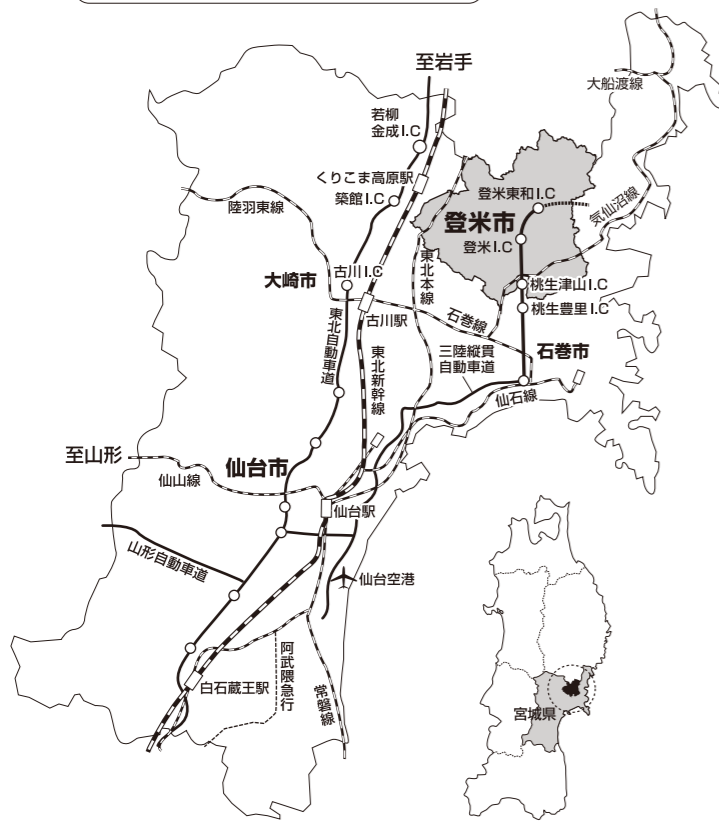
石越町、JR気仙沼線が豊里町と津山町を走っています。  
平成22年3月に「三陸縦貫自動車道」が本市の東和町まで延伸されたことにより、救急医療アクセスや地域経済の進展などさまざまな効果が期待されています。

### 将来の展望

市総合計画でのまちづくりの基本方向に基づくさまざまな施策に

よって、市民の誇りや本市を愛する気持ちを醸成し、東北の大地で持続的に発展することができる『夢の大地』が愛する水の里』を実現させます。  
この将来像は、わたしたちが暮らすこの大地で、共通の財産である豊かな自然との共生を通して本市の『個性を築きながら、愛と夢と誇りをもって市民が二丸となったまちづくりを進めていくためのメインテーマです。』

- 人口 / 85,650人(平成23年12月末現在)
- 世帯 / 26,744戸(平成23年12月末現在)
- 面積 / 536.38km<sup>2</sup>

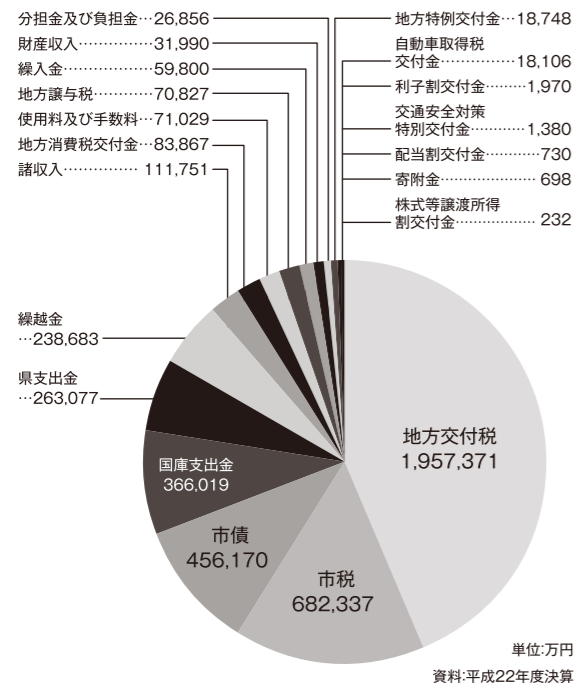


# 財政

## 平成22年度 一般会計決算状況

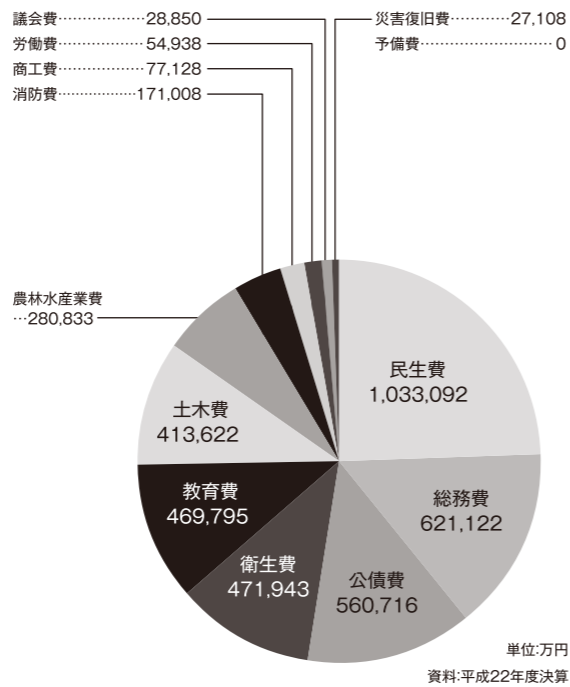
### ■ 歳入

総額 4,461,641万円



### ■ 歳出

総額 4,210,155万円



### ■ 一般会計決算額・地方債残高等の推移

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
歳出決算	391	402	407	418	437	421
財政調整基金残高	32	32	36	34	37	39
地方債残高	481	494	499	513	521	519
財政力指数	0.333	0.358	0.375	0.377	0.373	0.357

### ■ 平成22年度 特別会計決算状況

特別会計	歳入(万円)	歳出(万円)
国民健康保険事業	996,110	967,764
老人保健事業	499	499
後期高齢者医療事業	71,122	69,511
介護保険事業	685,395	681,026
土地取得事業	16,471	16,470
下水道事業	466,044	441,297
宅地造成事業	18,781	15,852
計	2,254,422	2,192,419

### ■ 平成22年度 市税の収入状況

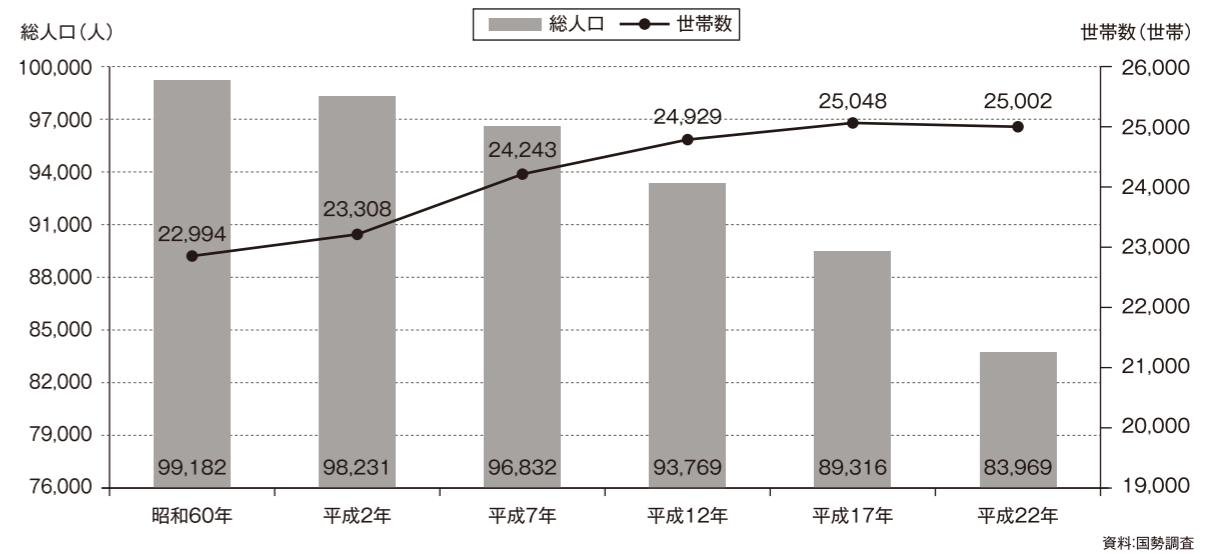
市税	調定額(万円)	収入額(万円)	徴収率(%)
市民税	294,208	270,640	92.0
固定資産税	385,822	341,497	88.5
軽自動車税	23,684	21,523	90.9
市たばこ税	48,601	48,601	100.0
鉱産税	10	10	100.0
水利地益税	66	66	100.0
入湯税	0	0	-
計	752,391	682,337	90.7

# 人口

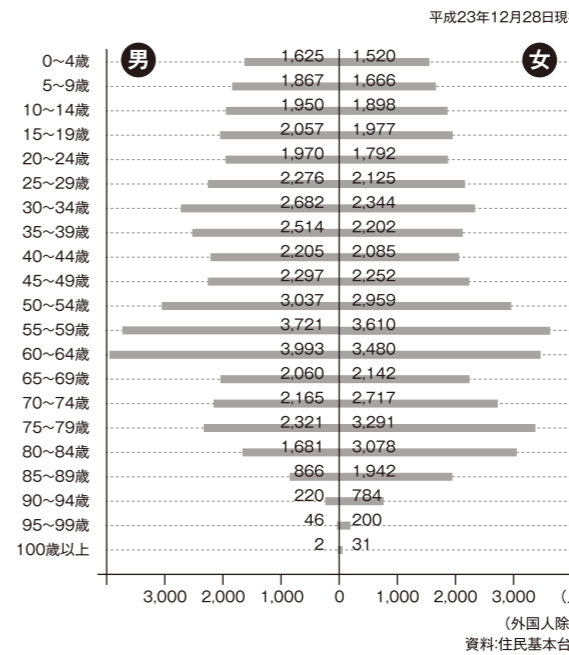
人口 83,969人 世帯数 25,002世帯

平成22年 国勢調査数値

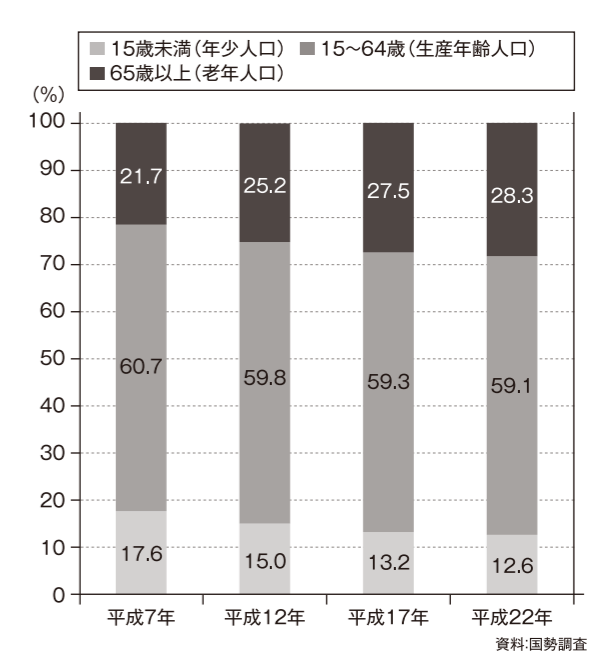
## ■ 人口の推移



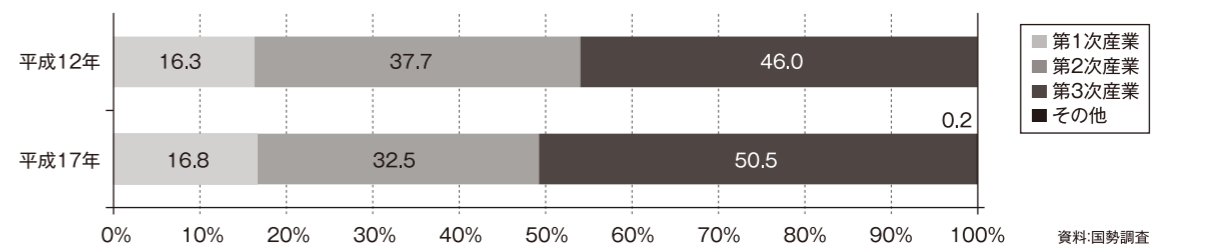
## ■ 人口構成図



## ■ 年齢3区分人口構成の推移

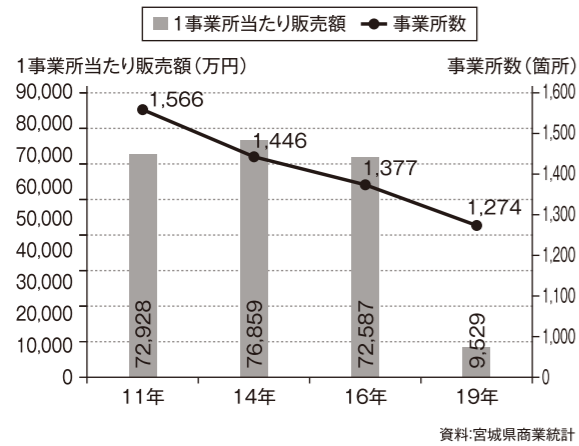


## ■ 産業別就業者の構成比

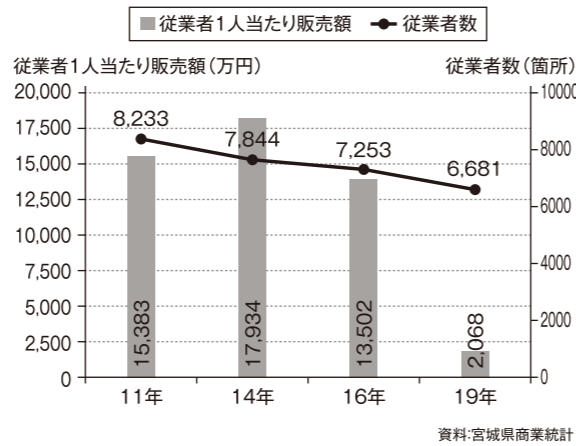


# 商業

## ■ 事業所数と商品販売額

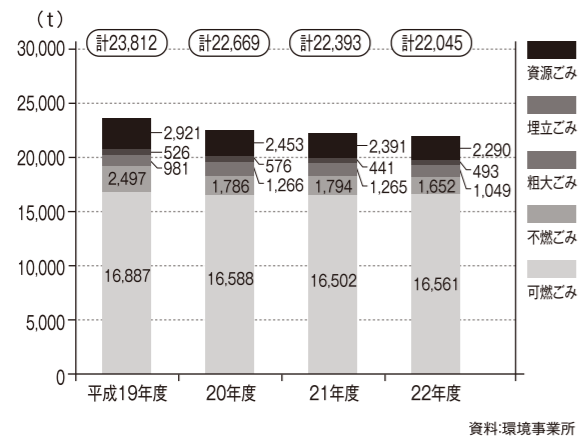


## ■ 従業者数の推移

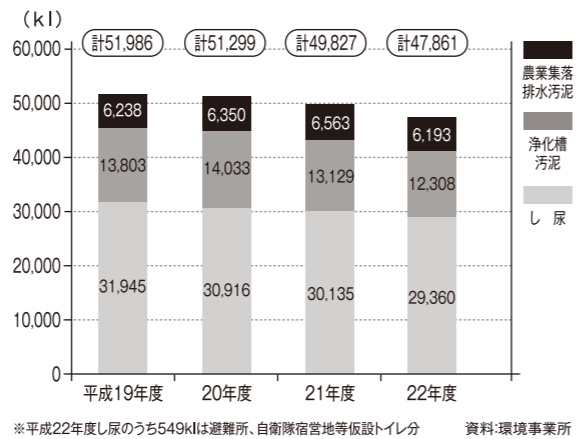


# 生活

## ■ ごみ収集量



## ■ し尿・汚泥収集量

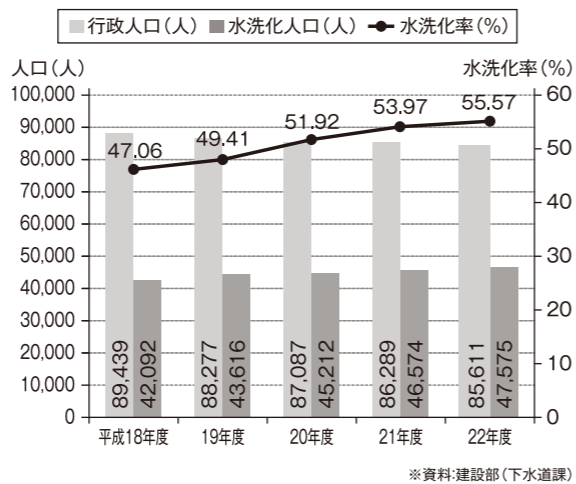


## ■ 水道給水人口および普及率等

平成23年3月末現在	
給水件数	28,946件
行政区域内人口	85,965人
給水区域内人口	85,645人
現在給水人口	84,759人
給水普及率	99.0%
年間配水量	9,913千トン
年間有収水量	8,158千トン

資料:水道事業所

## ■ 生活排水処理状況



# 産業

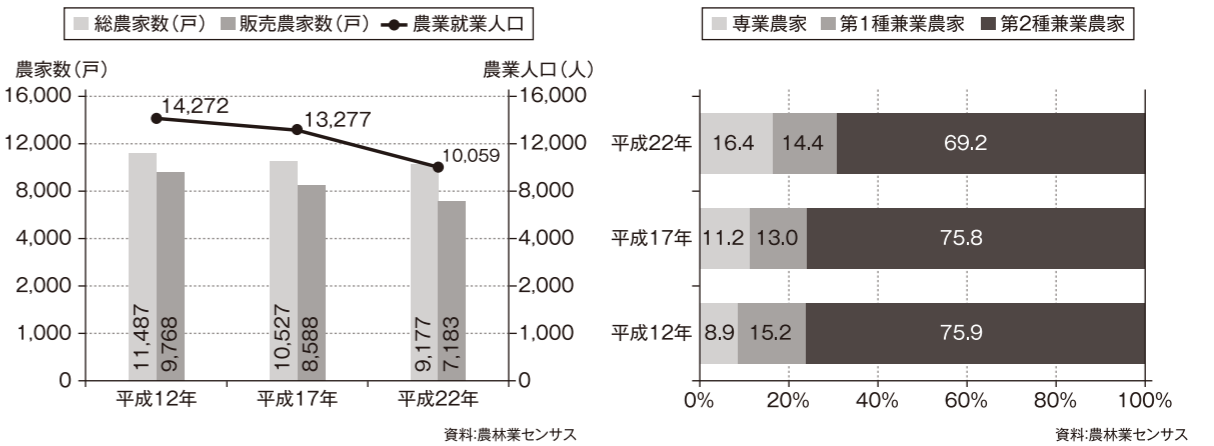
## ■ 産業別人口

年	第1次産業				第2次産業				第3次産業				分類不能			
	合計	農業	林業	漁業	合計	鉱業	建設業	製造業	合計	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業		運輸・情報・通信業	電気・ガス・水道業	サービス業
平成12年	7,561	7,458	95	8	17,475	85	6,977	10,413	21,353	7,835	516	88	2,141	162	8,962	1,649
平成17年	7,335	7,280	43	12	14,178	50	5,407	8,721	22,001	6,614	515	84	1,965	89	11,347	1,387

資料:国勢調査

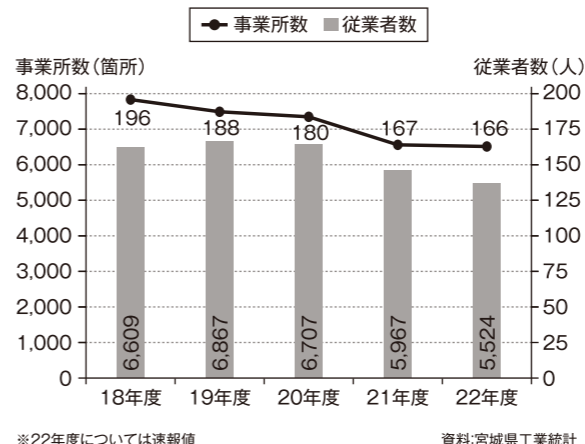
# 農業

## ■ 農家・農業就業数(自給的農家を除く)

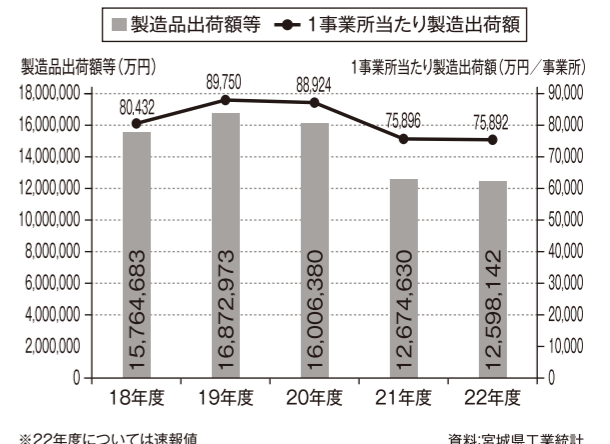


# 工業

## ■ 事業所数と従業者数の推移(従業者4人以上の事業所)



## ■ 製造品出荷額の推移(従業者4人以上の事業所)



## 登米市5年間のあゆみ

- 平成17年 4月 登米市誕生  
登米郡8町(迫、登米、東和、中田、豊里、米山、石越、南方)および本吉郡1町(津山)で合併
- 平成17年 4月 市長選挙布施孝尚市長当選、市議会議員一般選挙48人選出
- 平成19年 4月 市民バス本格運行開始
- 平成19年 4月 豊里小学校と豊里中学校が小・中一貫校に
- 平成19年 6月 三陸縦貫自動車道桃生津山インターチェンジ開通
- 平成20年 3月 消防防災センター・消防本部・消防署完成
- 平成20年 4月 新田第一小学校と新田第二小学校を統合し、新田小学校に錦織小学校と鯉嶋立小学校を統合し、錦織小学校に米川小学校と鱒淵小学校を統合し、米川小学校に
- 平成20年 6月 岩手・宮城内陸地震発生
- 平成21年 3月 斎場(火葬場)完成
- 平成21年 3月 三陸縦貫自動車道登米インターチェンジ開通
- 平成21年 3月 きたかみ園完成
- 平成21年 4月 市長選挙布施孝尚市長再選、市議会議員一般選挙30人選出
- 平成21年 4月 桜岡小学校と善王寺小学校を統合し、米山東小学校に
- 平成21年10月 高倉勝子美術館「桜小路」オープン
- 平成22年 3月 汚泥再生共同処理センター完成
- 平成22年 3月 三陸縦貫自動車道登米東和インターチェンジ開通
- 平成22年 3月 豊里公民館・豊里総合支所完成
- 平成22年 4月 水道お客様センター業務開始  
(水道料金収納・窓口業務などの民間委託スタート)
- 平成22年10月 登米市花鳥木制定
- 平成23年 3月 東日本大震災発生
- 平成23年 4月 地域密着型特別養護老人ホームオープン
- 平成23年 4月 市立病院再編  
登米市民病院、米谷病院、豊里病院、登米診療所、米山診療所、上沼診療所、津山診療所
- 平成23年 5月 市役所総合支所出張所廃止  
(新田出張所、米谷出張所、錦織出張所、横山出張所)
- 平成23年 9月 登米診療所の新診療棟完成



登米市開市式典



消防防災センター



斎場



きたかみ園

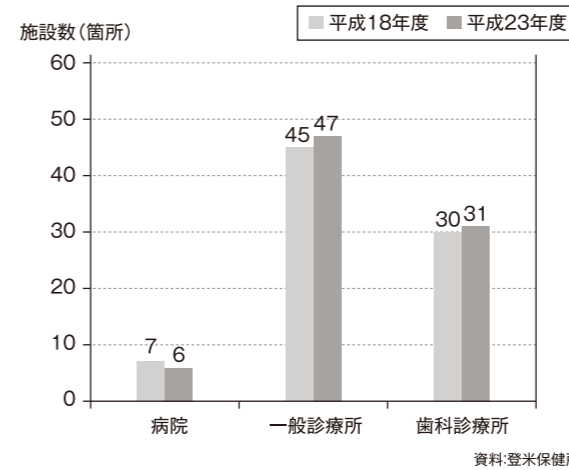


汚泥再生共同処理センター



三陸縦貫自動車道登米インターチェンジ開通

### 医療施設の状況



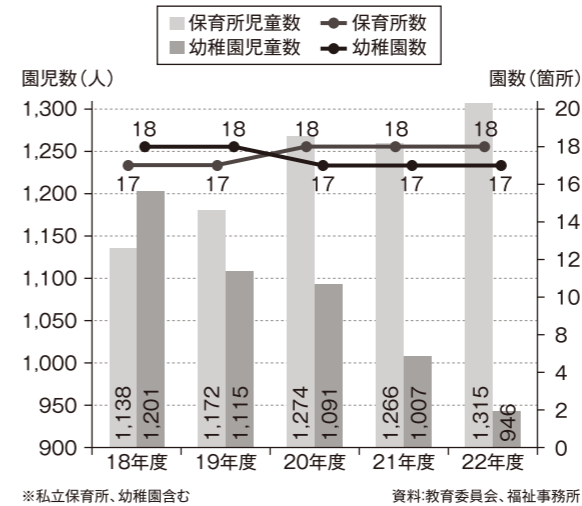
### 常備消防の現状

平成23年4月1日現在

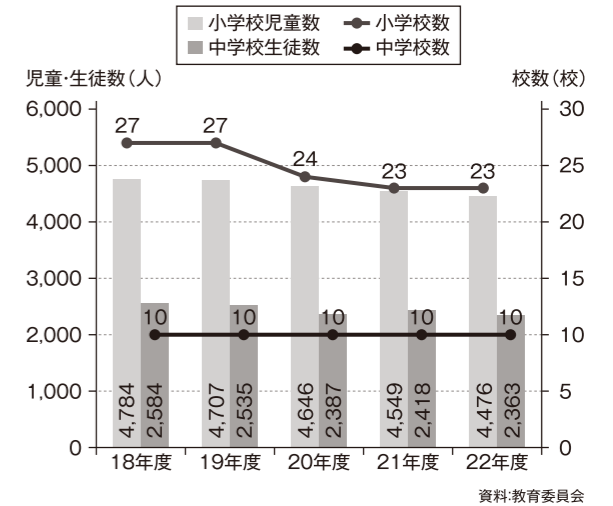
名称	消防本部・消防署
消防職員	156人
消防ポンプ自動車	6台
水槽付消防ポンプ自動車	2台
化学消防ポンプ車	1台
救助工作車	1台
高規格救急自動車	8台
資機材搬送車	2台
指揮車	1台
その他	13台
計	34台

資料:消防本部

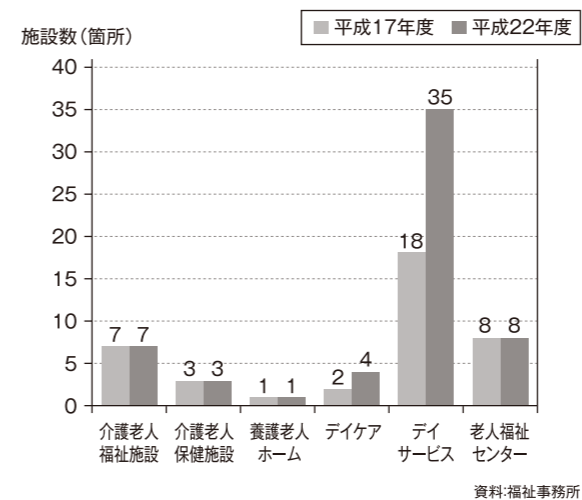
### 保育所・幼稚園の園児数の推移



### 小学校・中学校の児童・生徒数の推移



### 老人保健・福祉施設の状況



### 地域密着型サービス施設の状況

